



給食時に突然生徒会役員の子たちが校長室に押し寄せてきました。「校長先生、今日は何の日か知っていますか」と質問されたので、「今日は、アパート記念日だよ」と日めくりカレンダーを指さして言いました。本当は、今日は私の60歳の誕生日。登校時に何人かの子が、「おめでとうございます」と話しかけてくれていました。



その後、役員に連れられて各教室を回ると、**どのクラスからも**ハッピー・バースデーの歌と手拍子、それに温かいメッセージをいただきました。全クラスです！

なんとももったいない。涙が出ます。「ありがとう」というのが精一杯でした。

まいったなあ。一人一人の生徒の誕生日にお返しをしたい気分になりましたが、それは物理的に難しいです。



「わたしたちの卒業までいてくれると思っていました」と1年生の子に言われた時には、うれしくて、ぐうんと力が湧きました。「60歳になりますが…、**みんなに負けずに一緒に青春します**」と声高らかに叫んで教室を後にしたクラスもありました。

教室から戻り、校長室のドアを開けると、なんと校長室からトニーが突然登場し、**トニーまで祝ってくれました**。

あまりのサプライズに腰が抜けそうになりました。

帰りがけに、今度は教頭先生が「校長先生、急用です」と呼ぶものですから急いで職員室に向かうと、またしてもサプライズ。全員がバースデーソングで祝ってくれました。

一生忘れられない思い出となりました。みんな忙しい中で、自分のことだけでも精いっぱいなのに、他人を喜ばせるために一つになって取り組めるところが東中生や東部中にはあります。しなやかで潤いや彩りのある学校です。

職員からは**真っ赤なジャンパー**をいただきました。寒くなったらこのジャンパーを着て、その上に交通安全ベストを着て、登校する生徒を迎えたいです。